

駿河丸によるバラムツ釣獲調査

はじめに

近年、静岡県におけるキンメダイ漁業では、操業中に漁獲物がサメ類、イルカ類、バラムツによる食害を受けて大きな被害が発生しています。伊豆半島東岸沖における食害被害については、伊豆分場だより 362 号¹⁾でも紹介させていただきました。食害生物の種類別の被害状況は、漁業者によるとバラムツは近年減少傾向にあるものの、サメ類と特にイルカ類が増加傾向にあるようです。しかし、食害状況は常に変化しているため、再びバラムツの被害が深刻になる可能性もあり、その際には積極的に釣獲し、キンメダイ漁場のバラムツを減らさなければなりません。バラムツを効率的に釣獲するためには、生息環境や食性等の生物情報が重要になります。しかし、バラムツは人が消化できないワックスエステルを筋肉中に持つため、1970 年から食品衛生法に該当する食品として、厚生労働省から販売が禁止されています。よって、バラムツ狙いの漁業もなく生物情報もあまりありません。そこで本研究では、キンメダイの食害被害におけるバラムツ対策の一環として、釣獲調査による基礎的な生物情報の収集を行いました。

方法

静岡県調査船「駿河丸」を用いて、駿河湾内で釣獲調査を実施しました。得られた釣獲物は種類の同定を行いました。バラムツが釣獲された際は精密測定（体長・体重の測定、雌雄判別・生殖腺重量の測定、胃内容物の確認）をするとともに、CTD（Sea-Bird 社製 SBE19）を用いて釣獲水深の水温測定を行いました。

結果

調査結果を表 1 に示します。釣獲調査は 2020 年 6 月 29～30 日、10 月 19～20 日、11 月 16～17 日の計 3 回、夜間に行いました。6 月の調査では沼津市大瀬崎沖～静岡市清水区興津川沖の水深約 200m の地点で調査を行いましたが、釣獲物を得ることはできませんでした。そこで、漁業者や遊漁者等から情報収集を行い、10 月の調査では沼津市大瀬崎沖～富士市田子の浦沖の水深約 1000m の地点で調査を行った結果、アブラソコムツ（写真 1）4 尾とクロタチカマス（写真 2）10 尾が釣獲されました。そして、11 月調査では富士市田子の浦沖の水深約 1000m の地点で調査を行った結果、アブラソコムツ 9 尾とバラムツ（写真 3）2 尾が釣獲されました。バラムツ 2 尾の釣獲水深はどちらも水深 250m 程度でした。また、CTD による水温測定結果を図 1 に示します。釣獲された水深 250m の水温は、約 12℃でした。

表1 釣獲調査結果

調査日	時間	調査海域	海底水深	釣獲物
6月29～30日	17:50～1:55	沼津市大瀬崎沖～静岡市清水区興津川沖	約200m	なし
10月19～20日	17:35～2:30	沼津市大瀬崎沖～富士市田子の浦沖	約1000m	アブラソコムツ4尾 クロタチカマス10尾
11月16～17日	17:25～1:35	富士市田子の浦沖	約1000m	アブラソコムツ9尾 バラムツ2尾



写真1 アブラソコムツ



写真2 クロタチカマス



写真3 バラムツ

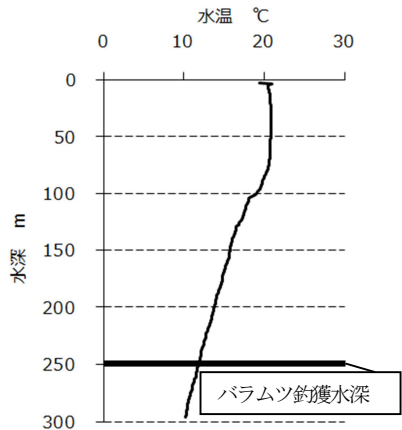


図1 CTDによる水温観測結果

釣獲されたバラムツの精密測定結果を表2に示します。バラムツはどちらも尾又長1m以下、体重5kg以下の雄の未成熟個体でした。胃内容物は1尾は空胃でしたが、もう1尾からは消化の進んだイカ類の一部(写真4)が確認できました。

表2 バラムツの精密測定結果

尾叉長(cm)	体重(g)	雌雄	生殖腺重量(g)	胃内容物
85	4,320	雄	40	空胃
90	4,800	雄	38	イカ類



写真4 胃内容物のイカ類

考察

3回の釣獲調査から、バラムツは水深1000m程度の海域に生息していることがわかりました。また、釣獲水深が250m程度であったことから、夜間は生息海域の中層付近を遊泳していることがわかりました。本調査で釣獲されたバラムツはどちらも体長1m以下でしたが、バラムツの最大体長は2mを超

えるとされている²⁾ことから、成長途上であると考えられます。胃内容物にイカ類が確認できましたが、これはバラムツの食性の嗜好によるものなのか、また、成長につれて変化するのかまではわかりませんでした。こうした食性を含め、より詳細な生物情報についても、今後も釣獲調査を続けることで解明していきたいと思えます。

参考文献

- 1)高木康次(2020)伊豆半島東岸沖海域におけるキンメダイ漁業の食害被害について、伊豆分場だより第362号。
- 2)Nakamura and Parin(2001)FAO species identification guide for fishery purposes、The living marine resources of the western central Pacific、vol.6.

(永倉靖大)